



大江の風

5月29日
No.17



新しい時代に対応・・・授業が変わる

子どもたちが活躍する未来の社会は、AI技術の進歩やグローバル化等、変化の激しい世の中になります。予測不可能な問題に主体的に向き合う力をつけなくてはなりません。熊本市は、4月から全小学校で子どもたちが自由にタブレット端末を使えるようになりました。（3クラスに1クラス配置。中学校は来年から）情報化社会・グローバル社会の中で、情報を主体的に捉えながら何が重要かを自ら考え、見出した情報を活用しながら他者と協働し、新たな価値の創造に挑んでいく児童生徒を育成するためです。政令市でトップレベルの取組です。子どもたちは幸せですよ。

そこでまずは1学期、じゃんじゃん使ってタブレットに慣れようを目標に、授業やその他の活動で活用しています。今はまだまだタブレットを触ることが楽しい！という段階ですが、きっとこれからタブレットはあくまでも思考を深める道具として、また成長の記録の保存として、授業で活用できるようになります。子どもたちは頭が柔らかくて、使い方もすぐ取得できるでしょう。教師もタブレット端末を使うよさ（一人一人の学びに寄り添う・思考を可視化できるなど）を実感しながら、学び合いを活性化させ、授業改善に努めていきます。1年後、2年後・・・1年生が6年生になったころにはどのように学び方が変わっているのでしょうか。どんな深い学びができるようになっていっているのでしょうか。とても楽しみです。



3年生が理科の観察かな？写真を撮っていました。うまく撮れたかな？



2年生が道徳で初めてロイロを使いました。教育センターのICT支援員の方もお手伝いに来てくれました。



2年生。自分の名前をカードに書いて、今の気持ちの色をつけて先生に提出。そして全員がどんな色を提出したか、電子黒板で確認していました。自分と友達の考えを比べることができました。勉強の前と後の自分の心の変化もはっきりわかります。



5年生は、家庭科で使っていました。先生から配信された給食の写真からどんな食材が使われているのか見つけてそれを先生に提出していました。

先生たちも放課後研修です。ロイロやメタモジでどんな学習が展開できるか、子どもたちが喜んでくれる姿を想像しながら必死で学んでいます。(笑)



すぐタブレットが取りに行けるように、各階の廊下に充電保管庫を設置しました。大江小の校舎は古くて、なんとコンセントが廊下に一つもありません。(びっくり!)ですので、学校主事の工藤先生に頼んで、教室内のコンセントから延長コードをつないで天井をはわけて廊下の隅までもってきてもらいました。これでいつでも使える状態になりました。さすが工藤先生です。ちなみに暑い日に涼を演出している「ミスト」も工藤先生作です。1年生が嬉しそうにミストに当たっていました。でもずっとそこに立っていたら、びしょぬれになって笑っていました。ほほどにしなきゃ・・・ね。でもこれもいい経験よね。